

3 雇用動向 4年連続で入職が離職を上回る

厚生労働省は8月23日、平成28(2016)年の「雇用動向調査」結果を公表した。それによると、昨年の入職率は15.8%、離職率は15.0%で4年連続の入職超過となった。ただ、「入職超過率」(入職率-離職率の差)は、平成24(2012)年の0.0%から、平成25(2013)年に0.7%でプラスに転じ、平成26(2014)年には1.8%と、比較可能な平成16(2004)年以降で直近のピークを付けた。その後、平成27(2015)年に1.3%、平成28(2016)年には0.8%(過去3番目の大きさ)と、入職超過の割合は低下傾向で推移している。

一般、パートとも入職超過

「雇用動向調査」は、全国の主要産業の事業所における入職・離職の状況や、離職理由等を明らかにする目的で年2回実施している。今回の結果はそれらを合算し、年計として取りまとめた。それによると、平成28年1月1日時点の常用労働者数が48,459.4千人(内訳は一般労働者が36,611.2千人、パートタイム労働者が11,848.2千人)だったところ、その後の1年間における入職者数が7,676.6千人に対し、離職者数は7,264.2千人で、差引412.4千人の増加となった。これを就業形態別に見ると、一般労働者が差引57.2千人、パートタイム労働者が355.2千人の増加で、増分の86%超はパートタイム労働者が占めている。

入職者数の年初の常用労働者数に対する割合(入職率)は15.8%で、離職者数の割合(離職率)は15.0%となった。これを就業形態別に見ると、

一般労働者の入職率が前年比0.8%低下の11.6%、離職率が0.4%低下の11.4%に対し、パートタイム労働者の入職率は前年同率の29.0%で、離職率は0.8%上昇の26.0%となった。

一般労働者については入職・離職率とも低下したものの、入職超過は4年連続となっている。また、パートタイム労働者については離職率が引き続き上昇したが、比較可能な平成16年以降、入職超過が継続している。パートタイム労働者の入職超過率は、平成24年の0.9%から平成25年に2.1%へ大きく上昇して以降、26年(4.8%)、27年(3.8%)、28年(3.0%)と、4年連続の大幅超過となった。

11産業で入職超過

入職・離職率を産業別に見ると、いずれも「宿泊業、飲食サービス業」で最も高い(入職率32.0%、離職率30.0%)。これに、「生活関連サービス業、娯楽業」(入24.1%、離20.3%)、「サービス業(他に分類されないもの)」(入19.5%、離19.1%)、「学術研究、専門・技術サービス業」(入19.1%、離13.4%)等が続き、総じて16大産業のうち、製造業等を除く11産業(前年は13産業)で入職超過となった。

なお、入職超過率の大きさで見ると、上位から「学術研究、専門・技術サービス業」(5.7%)、「不動産業、物品賃貸業」(4.6%)、「生活関連サービス業、娯楽業」(3.8%)等となっている。

パートへの未就業入職率が上昇

入職者数を入職前1年間における就業経験の有無別に見ると、転職入職者

(就業経験有り)数が4,778.0千人で、転職入職率が前年比0.7%低下の9.9%。これに対し、未就業入職者(就業経験無し)数は2,898.7千人(うち、新規卒卒者が1,345.0千人)で、未就業入職率は6.0%と同0.3%上昇した。

転職入職率は、直近のピークである10.9%(平成26年)より2年連続で低下しているが、未就業入職率については、平成17年と26年に付けた6.4%に次ぐ高さとなっている。これを就業形態別に見ると、前年に比べて上昇したのは、パートタイム労働者の未就業入職率(前年より1.6%上昇の13.4%)のみである。この水準は、平成17年(14.2%)に続く、過去2番目の高さとなっている。

パートからパートへの転職入職時の賃金は上昇傾向が継続

転職入職者の賃金変動状況を見ると、前職より賃金が「増加」した割合が前年比0.3%低下の35.3%に対し、「減少」した割合が0.7%上昇の34.1%で、「変わらない」が0.2%上昇の28.8%となった。前職の賃金に比べて「増加」した割合と「減少」した割合の差は1.2%で、平成26年(5.0%)の直近ピークから、27年(2.2%)に続き縮小した。

就業形態別に見ると、一般労働者から一般労働者への転職入職時の「増加」-「減少」の割合は、平成26年の2.1%から、27年に0.0%、平成28年には-2.0%と低下傾向で推移。これに対し、パートタイム労働者からパートタイム労働者については、平成26年(17.2%)のピーク時より低下し、27年には7.5%となったものの、28年に9.9%と依然、高くなっている。(調査部)